



さまざまな業務に携われ、
自分の得意なことがいかせる
そんな魅力的な職場です。

事務職の中でも教育事業に関する仕事として、区民の方の小中学校の入学、転校などに関する手続きを担当しています。保護者の方とのやり取りはもちろん、学校関係者とやり取りをする機会が非常に多いです。

印象に残った仕事、やりがいを感じた瞬間は

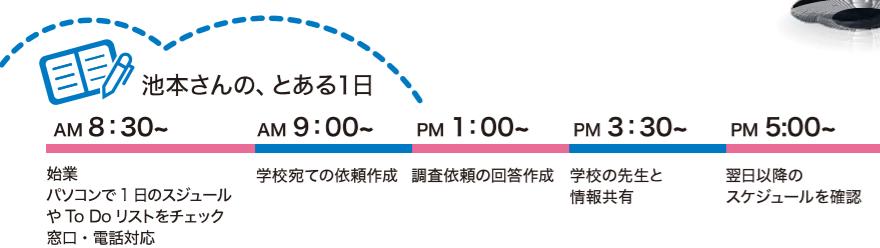
やりがいを感じたのは、保護者の方からの問合せに対応した際に「お聞きする前は何もわからず不安でしたが、ご丁寧に対応していただき、安心しました」と言ってもらえたことです。問合せを受けることで、こちらが新たに学ぶこともあり、今後も積極的に対応し、知識や経験を増やしていきたいです。

実際に大田区に入区して感じたことは

大田区は「東京の縮図」といわれるほど多くの魅力と可能性があるため、仕事の幅も広く、いろいろな業務に携わるチャンスがあり、自分たちの得意なことがいかせる職場だと感じました。また、先輩方は積極的に他の業務を手伝うなど、協力的な姿勢をお持ちで、繁忙期でも職場の雰囲気がとても明るいです。

今後の目標はなんですか

学校教育だけではなく、学びたい人すべてを対象にした「生涯学習」に関わる仕事をしてみたいのです。「人生100年」を見据えて「健康寿命」が延伸している今、何歳になっても学びたいことを学び、やりたいことを実現できる環境を求める方は増えていくと思います。より幅広い区民の方の「学び」を支えていきたいです。



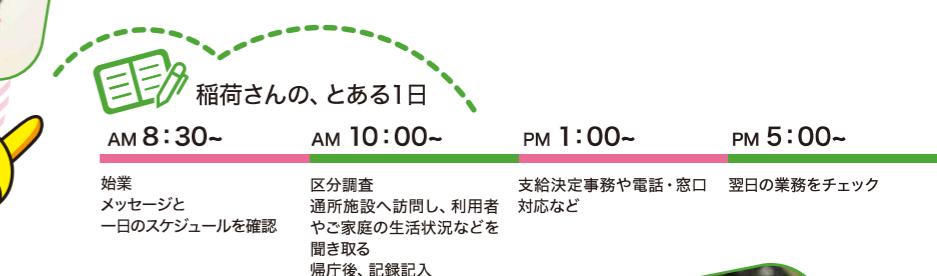
事務

人事委員会試験・選考



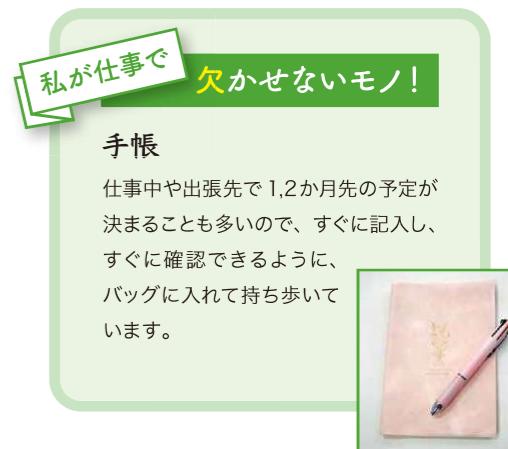
たくさんの知識を身に着け、
障がいを持っている方に寄り添い
信頼される職員を目指します。

「愛の手帳」を持っている方の障がい福祉サービスや地域生活支援事業の支給決定事務、電話や窓口での対応などを主に行っています。また、知的障がいのある方やそのご家族のもとへ訪問し、現在の状況などの聞き取りも行っています。



福祉

人事委員会試験・選考



印象に残った仕事、やりがいを感じた瞬間は
区民の方にとって普段なじみのない手続きの申請書などは記入するのが難しいため、分かりやすく伝えられるように努めています。そんな中で、電話や窓口対応の際に、「丁寧に教えてくれてありがとう」と言っていただいた時はとてもうれしかったです。

職場はどのような雰囲気ですか

電話や窓口での対応が多く、活気のある職場だと感じました。先輩方は皆、優しく温かい方々で、困ったことや分からることがあったときも相談しやすく、安心して働くことができます。また、大田区の研修や特別区全体の研修もあり、多くの同期と知り合うことができました。自分の不安なことを共有したり、逆に悩みを聞いたり、心配などを一人で抱えずにいられるため楽しく仕事ができています。

今後の目標はなんですか

障がいを持っている方の困りごとや不安などに寄り添って支援のできる職員になりたいです。そのためにも、日々の業務の中で障がい福祉サービスに関する知識を深め、多くの区民の方に信頼される職員を目指していきます。